

しよさんかいようず

諸産懷孕図（『産論翼』より）

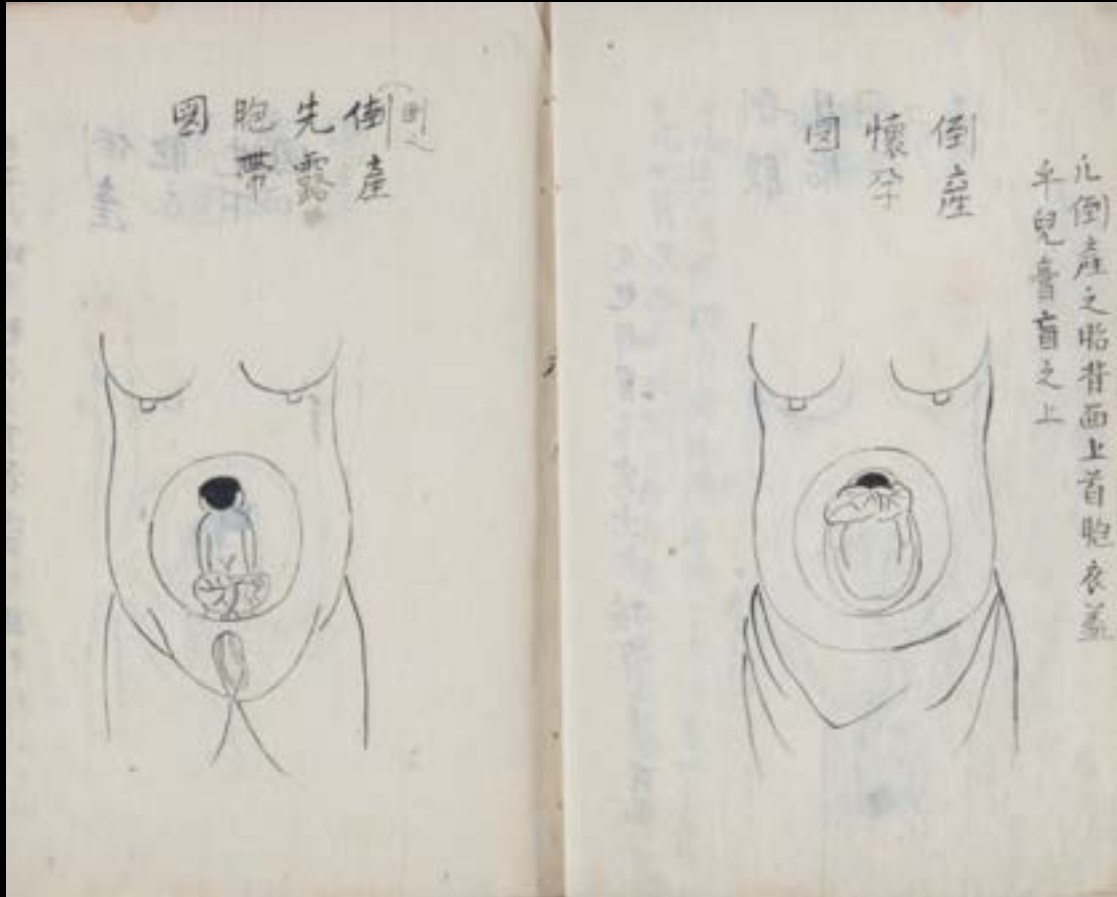
賀川玄迪 1775年（書写年不明）

妊婦さんたちの頼れるヒーロー

18世紀中頃に活躍した医師・賀川玄悦は、母子にとって安全な分べん法や医療道具を探求し、出産時の様々なトラブルに立ち向かいました。また、彼の弟子たちは、玄悦の教えを「賀川流」として全国に広げ、当時の産科医療を支えました。本書は、玄悦の著書を、養子の玄迪が補足した本の一部です。逆子や双子など、胎児の様々な例を32の図で紹介しています。

Figures of Unborn Children, Kagawa Genteki, 1775, transcription date unknown

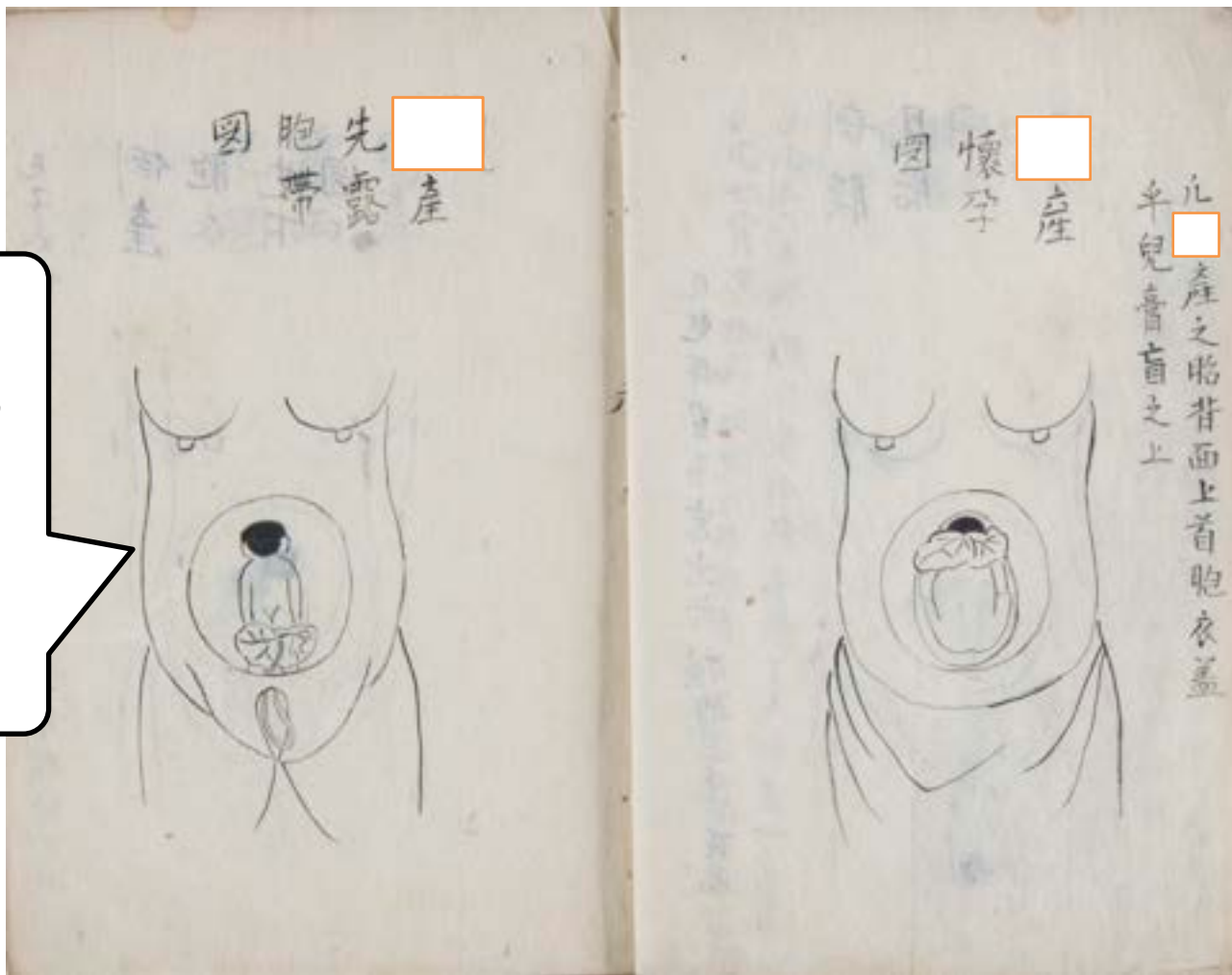
Kagawa Genetsu, a physician active in the middle of the 18th century, investigated medical instruments and safe methods of childbirth for mothers and children. His disciples spread Genetsu's teachings throughout Japan, and fostered obstetrical treatments. This book on display is a part of a work that Genetsu's adopted child put together to supplement a text by Genetsu. The book introduces examples of twins and irregular births with 32 images.





諸産懷孕図(しょさんかいようず):賀川玄迪(かがわげんてき)1775年

妊婦さんたちの頼れるヒーロー



白抜きの部分をうめてみよう!
 今では逆子というけれど・・・?

☆おかあさんは大変!
 ⇒江戸時代の乳幼児死亡率はとても高く、平均寿命も30~40歳くらいだったといわれています。

☆出産の常識を覆せ!

⇒玄迪のお父さん、玄悦(げんえつ)もまた妊婦さんのヒーローでした。当時、「赤ちゃんは陣痛が始まるまで、お腹の中で頭を上になっている」と思われていたが、玄悦の発見によって、それが今の「逆子(さかご)」という状態であることがわかりました。

☆お腹の中にいる時、赤ちゃんはいろいろなポーズをとっています。玄悦は32個の図をこの本で紹介しています。どんなポーズかな?描いてみよう!